



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



前市議会議員
砂田喜昭



前参議院議員
たけだ良介

禁無断転載
複写配布

保険証をマイナンバーカードに一体化

「マイナ保険証」確認システム義務化に 医療機関から怒り

政府は、マイナンバーカードを健康保険証の代わりに利用する「マイナ保険証」オンライン資格確認システムを医療機関に原則「義務化」する方針です。2023年4月から実施で、多くの医療機関が怒りの声を上げています。患者自身が受診時に、保険証の代わりにマイナンバーカードを機器で読み取らせます。時々システムダウンするなど、忙しい時に医療事務を止めてしまう恐れもあります。東京保険医協会副会長は、「システム導入の費用は国の補助金では足りず、運用にかかる費用は補助の対象外です。今対応できている医療機関は全体の2割といわれています。」と述べています。

紙の健康保険証廃止して マイナンバーカードを強制

その上、10月13日河野大臣は、9月30日現在、富山県のシタル相は、2024年秋には現在、普及率は人口の49・8%。小矢部市は49・1%です(富山県のHPより)。マイナンバーカードが普及しないため、保険証を人質にしてマイナンバーカードの取得を強制しようというのです。

顔認証システムで行政による監視社会に

政府はこのシステムを使うが心配されます。指紋の1000倍と多いと言われる本人識別機能をもつ顔認証システムで、医療情報のデータベースを医療以外の企業の経済活動に利用することを目指しています。マイナンバー制度では、国民の多くの個人情報がかきつけられ、収集集積されています。現行では、収集した情報の用途は定められていません。カードの発行で、顔画像が取得され、顔認証システムによる監視社会化

反対の声を広げよう

反対名 3日間で10万人

強権的に健康保険証を廃止し、マイナンバーカードを取得したくない人に、取得を強制する施策は、カードの「任意取得の原則」に反します。国会での議論もしないで政府の「一存で国民に強制すること」は議会制民主主義にも反します。

これには国民から急速に反対の声が広がっています。ツイッターでも、統一協会とスプスプの政府に、私の個人

情報を渡したくないとの声がひろがっています。支持率わずか27%の政府に「マイナ保険証」を強制されたくない。緊急署名はネット上で「マイナンバー」が呼びかけたネット署名「反対する緊急署名」が、わずか3日間で10万人も集まりました。連絡会では今後紙での署名にも取り組み、12月6日に国に提出します。緊急署名はネット上で「マイナンバー 反対連絡会」を検索すればできます。

市民の声より…「マイナンバーカードと健康保険証の合体 心配なこと いっぱい」



Tさんの心配と疑問

お昼のテレビのワイドショーで、河野大臣の「マイナンバーと保険証合体」方針について取り上げ、話し合っているのを見ました。医者のコメンテーターを呼び、「デメリットは何も無い、非常に作業が効率的に進む。」という旨の発言をしていました。

自分の病歴 自動的に共有される

患者に「いちいちお薬手帳」がどうの、病歴がどうのと聞かなくても、どの病院へ行っても、その人の病歴やかかった病院、処方された薬等の情報が、自動的に共有されるのだという話でした。

この話を聴きながら、精神科の病院の患者さんには、他県の方が多いという話を聞いたことを思い出しました。心の病については、地元の人には知られたくないという気持ちがあるからだと思います。心の病に限らず、女性は婦人科関係の病歴、男性も性病に関するものは、「他人」には知られたくないという思いが出てくるのではないかと思います。

様々な病気を患うことは、子どもにとってはいろいろなウイルスを取り入れながら耐性を作っていく必要な過程でもあるし、今の時点での身体の「欠陥」も、成長や時間の経過で治っていくものです。「病気になること」は、本人の責任や意思ではどうにもならないことで、致し方なく受け入れているものです。遺伝的な要素なら全く本人に責任がないものです。

それなのに、自分の心身の健康度や病歴が、自分の知らない間にかかった病院の医師や看護師、薬剤師に共有されているというのは、人権の問題として慎重に考えられるべきものです。

収入額や賞罰、転居歴も誰かに知られる？

病歴に限らず、収入額も賞罰も転居歴などなど自分の忘れていた情報まで未来永劫消えずに記録されて誰かに知られるということが、許されるのでしょうか？自分の情報は、自分だけのものではないのでしょうか？転居情報とかも全て網羅されると、学校の転校もDVで逃げてきた親子など絶対秘密案件で特別枠がありますが、そういったのはどうなるのか心配です。

教育、福祉に人手は必要 必要な手間をかけようよ

「効率や「手間がかからない」が優先されがちですが、教育、介護、保健衛生や病気などの福祉分野では、とりわけ人の「手間」が必要ではないでしょうか。人手や人件費がいるなら、必要なのだから、お金も手間も掛ければよいのです。一人一人の「心」を置き去りにして、手早く効率的に処置することはいくら意味があるのでしょうか？

